



ヒルズ通信

第21号
社会福祉法人 景誠会
特別養護老人ホーム
ヒルズ勝沼

平成25年2月1日発行

一丁目

「餅つき大会」



インフルエンザ・ノロウィルス流行の時期になりました。年末よりの面会制限によりご家族の皆様にはご不便、ご心配をお掛けしております。その様な中での年明けとなりますが、今年も恒例の餅つき大会が行われ、一丁目からは9名が参加されました。

昔ながらの臼と杵を使った餅つきに、懐かしさで目を輝かせ、とても良い表情をされていたのが印象的でした。「よいしょ」の掛け声に合わせて餅をつき、その場でみんな



なで一緒に頂きました。どなたも「おいしい」と満足気でした。普段は静かな地域交流スペースですが、この日は「よいしょ」の掛け声と「ペタン・ペタン」の音、そして笑い声が響き渡り、賑やかでほんわかとした温かな行事となりました。

(小沢 はづき)

【白浜 千恵子様】大正一一年一月八日生(九一歳)



『用意したケーキよりもパンを召し上がっていました』



『誕生日おめでとういわいませ』

一丁目

「餅つき大会」

年明け間もない一月九日、毎年の恒例行事「餅つき大会」が地域交流スペースにて行われました。

午前と午後の部に分かれての開催となりました。職員が、お餅をつく度に入居者様



の「よいしょ」「よいしょ」と大きな声が上ががり、また入居者様と職員との二人で協力しながらお餅をつく光景も見られ、大変盛り上がりました。「つきたてのお餅は美味しかった」との声も頂き、入居者様の笑顔が見られた良い一日となりました。

(保坂 一博)

